

【急性リンパ性白血病】

レジメン名称 : ALL寛解導入 (JALSG202-O)  
 催吐性リスク : 中等度

インターバル日数 : 28 日  
 基準日 : day 1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性	総投与量
3	点滴静注	注射用エンドキサン	1200mg/m <sup>2</sup> (60歳以上800mg/m <sup>2</sup> )		day1		炎症性	
4	点滴静注	ダウノマイシン静注	60mg/m <sup>2</sup> (60歳以上30mg/m <sup>2</sup> )		day1,2,3	-	壊死性	25mg/kg
5	点滴静注	オンコピン注射用	1.3mg/m <sup>2</sup>	2mg	day1,8,15,22		壊死性	
6	点滴静注	ロイナーゼ注用	3000U/m <sup>2</sup>		day9,11,13, 16,18,20	-	非炎症性	

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day3	day8	day9	day11	day13	day15	day16	day18	day20	day22
1	点滴静注	生理食塩液100ml 点滴静注 * 点滴時間30分 投与経路:末梢メインルート	100ml	投与順1	投与順1	投与順1									
2	点滴静注	パロノセトロン静注0.75mg 生理食塩液100ml 点滴静注 * 点滴時間30分 投与経路:末梢メインルート	1V 100ml	投与順2											
3	点滴静注	注射用エンドキサン 生理食塩液500ml 60歳以上では800mg/m <sup>2</sup> に減量 点滴静注 * 点滴時間3時間 投与経路:末梢メインルート	1200mg/m <sup>2</sup> 500ml	投与順3											
4	点滴静注	ダウノマイシン静注 生理食塩液100ml 60歳以上では30mg/m <sup>2</sup> に減量 点滴静注 * 点滴時間1時間 投与経路:末梢メインルート	60mg/m <sup>2</sup> 100ml	投与順4	投与順2	投与順2									
5	点滴静注	オンコピン注射用 生理食塩液50ml 点滴静注 * 点滴時間5分 投与経路:末梢メインルート	1.3mg/m <sup>2</sup> 50ml	投与順5			投与順2				投与順2				投与順2
6	点滴静注	ロイナーゼ注用 注射用水20ml 5%糖液500ml 初回投与前にブリックテストを行う 点滴静注 * 点滴時間2時間 投与経路:末梢メインルート	3000U/m <sup>2</sup> 必要量(1Vあたり2~5ml) 500ml					投与順2	投与順2	投与順2		投与順2	投与順2	投与順2	
7	点滴静注	生理食塩液50ml 点滴静注 * 点滴時間5分 投与経路:末梢メインルート	50ml	投与順6	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day3	day8	day9	day11	day13	day15	day16	day18	day20	day22
1	内服	イメンドカプセル	125mg、80mg	125mg	80mg	80mg									
2	内服	ブレドニゾン錠5mg	60mg/m <sup>2</sup>	day1~21(day22~28に漸減、終了) 60歳以上ではday1~7(day8~14に漸減、終了)											

- ★麻痺性イレウス発症時はVCRをVDS3.0mg/m<sup>2</sup>(最大4mg)に変更する
- ★L-ASP点滴静注でアレルギー症状が出現した場合は筋注に変更する